

四ッ葉だより



謹賀新年

新年、明けましておめでとうございます。
旧年中は皆様に格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

多くの皆様に支えられ、お陰様で三十周年記念行事を滞りなく執り行うことが出来ました。今年には新たなスタートの一年にしたいと思っています。

本年も、皆様のご多幸と祈念しますとともに、ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成二十八年一月

理事長 青戸雄一

Produced by 授産センターよつば

第27回 四ッ葉まつり を終えて...

去る10月10日、涼やかな秋空の下、27回目となる四ッ葉まつりが開催されました。

四ッ葉園創立30周年記念ということで、餅撒き用、販売用、記念餅用と、沢山のお餅を作りました。利用者の方、保護者の方、先生方、ボランティアの方、職員で作るお餅の形はさまざまでしたが、皆様作業台をかこみ、粉まみれになりながら無事に作り終える事が出来ました。とても楽しい思い出になったと思います。ありがとうございました。

授産センターよつば 小川竹子



タイトルバック：「日本」
大廻健夫さん（四ッ葉園）

記念
餅撒き



研修報告 研修で得たこと



今年度もこれまでに多くの研修を受講しました。
その報告の中から、一部抜粋してご紹介します。

* 強度行動障害支援者養成研修（実践）

固有の障害特性の理解から、具体的な支援方法を導き出す基本的なプロセスを学び、保護者様より、経験談も聞くことが出来ました。

支援するにあたり、どのように支援して良いのかわからず、苛立ちから虐待につながるケースが多く、そのため私達支援員は専門的な知識を身に付け、対応方法を取得しておく必要があります。その対応方法としてまず、4つのプロセスが重要であり、このプロセスに従って構造化することが大切であるとのことでした。

実際に事例を通して作成すると難しく、「個々の障害特性に合った支援」とよく聞きますが、ここまで（4つのプロセス）分析して初めて行えるものであり、今までの自分の支援が未熟であった事を改めて痛感しました。（アクティブ'99 生活支援主任 秋鹿良輔）

今回の研修で、言葉だけでコミュニケーションをすることが苦手な人にとって、言葉に頼った関わり方はストレスになっていると感じさせられました。困っていても他者に伝えられず奇声や大声を上げる利用者様がおりますが、ご本人の特性・気持ちを理解し、ストレスのより少ない環境作りをしていきたいと思いました。（アクティブ'99 野津勝司）

* 中四国身体障害者施設職員研修大会

生活上で困っていることについて、利用者様からのニーズに応じて補助具を作成した事例報告でしたが、専門職員の視点からの工夫も大事ですが、「職員間の情報共有」が一番大切だと感じました。また、利用者様ができないことに対して、直ぐに直接的な支援をするだけでなく、工夫によって「自力で行うことができる」ということが重要であると、事例を通して改めて感じました。同じ問題であっても、利用者様によって、ニーズは変わってきます。同じ補助具、方法が必ずあてはまるとは限りません。「できること」を考えることが大切です。（授産センターよつば 施設入所・生活介護事業所長 大中信祐）

* 社会福祉職員研修（初任者コース）

意見交換では、同じ職種ということで共感できることが多く、他者の考え方を知ることが出来ました。中でも、「職場内のコミュニケーションの取り方」の大切さ。疎かになると支援にも大きく影響してくること。自己完結ではなくみんなで相談し合って解決して行くこと（チームアプローチ）の必要性を改めて実感しました。（アクティブ'99 吉岡裕美）

職場体験

(9/14~18)

「職場体験で思ったこと、感じたこと」

湖北中学校 南波綾華さん

5日間授産センターよつばで体験して、思ったり感じたことがたくさんありました。

初めに、障がい者の方と職員を見ていて、コミュニケーションが大切だということでした。

朝からたくさんの「おはよう」「お疲れ様」…。困っている人、何気ない会話…どんなに忙しくても、職員はその人の所においてコミュニケーションをとっていました。

次に、よつばでは障がいを持っておられる人、そうでない人が一緒に仕事をしています。だから自分でできることは一生懸命にやって、大変なことは手助けをし合う。助け合って生活をしていて、すごいなと思いました。

その他にも、5日間という短い期間に学べたことが沢山ありました。これからの進路にこの学んだことを活かしたいと思います。

島根県障がい者アート作品展鑑賞に出かけました。

12月4日、島根県立美術館にて開催された島根県障がい者アート作品展鑑賞に、四ッ葉園生活介護生活班とやすらぎの家の利用者様が出かけました。自ら製作された作品をご覧になって、照れ笑いを浮かべたり、誇らしげにされたりと、作品鑑賞を楽しめました（入選者4名）。



連載 第1回

よつば献立のお品書き

冬編

★ごはん

とりささみのフライ：★キャベツ、赤玉ネギ添え

ポトフ風：★大根、ブロッコリー、人参、ウインナー

なめこ和え：★白菜、なめこ、小松菜

フライドポテト：★秋じゃがいも

味噌汁：かぼちゃ、玉ネギ、ネギ

★は地元古志町の食材です

下古志ファームの畑



中古志産のお米



よつばの畑（収穫）

古志町のお釜川、柿原池という「水」に恵まれた豊かな土地。中古志、下古志地区の美味しいお米、野菜がよつばの食卓を豊かにしてくれています。

栄養士より

よつばの食事は、農耕班の野菜、地元古志町産の米・野菜を多く取り入れています。地元産の食材は収穫したての新鮮な状態ですので、ますます美味しく頂けます。この時期、農耕班、古志町産は美味しい大根白菜がたくさん収穫されていますのでふんだんに使わせていただいています。

《栄養士ワンポイント＝青木管理栄養士》

大根・イイね！

大根にはビタミンCや食物繊維、大根の葉には、カルシウム、カロテン、ビタミン食物繊維が含まれておりこの時期食べたい食材です。汁具や漬けなど副菜に大活躍。冬は風邪対策に効果的。

主食（米）、主菜（肉魚、大豆製品等）、そして副菜として組み合わせることでバランスよくできます。そうすると体内での吸収も良くなり、風邪の予防が期待されます。しっかり食べてください。

古志地区 あったかスチーム 根っこのつどい

～障害のある人と地域の
サポーターの交流活動～

蕎麦打ち体験

2015年11月14日（土）
八雲町ふるさと館

知人に勧められ参加しました。蕎麦打ちは初めてだったけど、やってみて良かった。僕の介助のために警察学校や市社協のスタッフが四人いてくれて、うれしかった。僕の右手の力が入らないのを見て、同じグループの寺本さんが生地を押えてくれた。寺本さんはうまくコミュニケーションできない人だったが、「一生懸命OK（という意思）」を伝えようとしてくれて、気持ちを伝え合っことができた。



参加した元重さんに
聞いてみました！



グループホーム改修

福祉社会では最初のグループホーム「たんぼぼの家」開設から27年。一戸建て、アパート棟と形態は様々ですが、いずれも「はたらく生活」を支える重要な場となっています。年月を重ねて定着してきた一方、建物の使い勝手が現状とそぐわない事が出てきました。

そこで、各ホームの修繕調査を実施。まず「たんぼぼの家」南口の改修工事を実施することになりました。その一部をご紹介します。

たんぼぼの家

外壁、内装ともに古くなったため、全改修。そして今回、特に「水回り」を大幅に改修しました。

＊浴室・洗面室・トイレ

BEFORE



AFTER



南口（第1～第3）

JR松江駅より徒歩1分の「街中」グループホーム（ビルの2～4階）。周囲は、ビジネスホテルやビルという立地のため、「プライバシー」についての配慮がかなり必要なホームです。

今回は、この「見る、見られる」ことから起きるトラブルの防止をポイントにしました。

＊「窓」周辺

何気なく「外を見て」いるつもりでも、視界にいる人が「見られている」と感じる…ことはよくあります。近隣の方からもご意見をいただいたことがありました。そこで、『ミラーカーテン』（外からは見えにくい、光は通し、内からは見えるという機能）を全室に設置、普通のカーテンとダブル使用にしました。

年代の幅も広くなり、重度メンバーの利用者さんも多くなってきました。「ここで暮らしたい」方たちを長く支援していくために、利用者さんの声を聞きながら今後も改善していく予定です。



授産センター
よつば製作





四ッ葉アーカイブズ



Yotsuba Archives vol.2

30年の膨大な記録＝写真から、「懐かしさ」だけではなく、「未来に」つなげたい1枚をご紹介します。

やってみなけりゃ、始まらない。

余暇活動でやってみたパン作り。「美味しいね！」
そんなきっかけで、朝食用のロールパンを作り始めた。
道具が無い、設備が無い、場所も無い。
じゃあ、どうする？ こんな時はとりあえず
「有る」ものを使ってやってみよう。

女性が主役の作業班があるといいな。
こうして、女性5人の、食堂配膳テーブルと
こたつ（発酵機）、厨房のオープン借用の
作業班スタート。
掌の生地の感触、やがて香ばしい香り。
「美味しい」「また食べたい」の聲が嬉しくて…。
それが『よっぱのパン』の誕生秘話です。



*アーカイブ＝記録を保存・活用し、
未来に伝達することの意

行事予定

2016年1月～2016年3月

1月	4日(月)	冬季帰省帰園日
	5日(火)	仕事始め
	8日(金)	新年会(成人・還暦祝い)
	12日(火)	全体集会
	25日(月)	工賃支給
	26日(火)	授産会議

2月	3日(水)	節分
	10日(水)	全体集会
	18日(木)	利用者様健康診断
	23日(火)	授産会議
	24日(水)	四ッ葉福祉会安全の日
	25日(木)	工賃支給
3月	10日(木)	全体集会
	15日(火)	授産会議
	25日(金)	理事会、評議員会、工賃支給

四ッ葉だより No. 110
平成28年1月15日発行

発行所
社会福祉法人 四ッ葉福祉会
〒690-0121
松江市古志町 1551-4
TEL: 0852-36-8877
FAX: 0852-36-8894
URL: <http://www.yotsubaen.or.jp/>

編集・印刷
四ッ葉福祉会広報委員会

※本紙に使用した写真等は本人・家族の方の了解を得ています。

暖かな気候で迎えた二〇一六年、
早春のような陽気でした。この冬
はエルニーニョ現象が強く、日本周
辺では暖かい空気が流れやすい、と
のこと。雪とは無縁の正月となりま
した。
さて、二〇一六年はどんな一年に
なるのでしょうか。皆様が穏やかに
幸せな一年になります
よう、願っております。
そして、本年も四ッ
葉福祉会へのご支援を
どうぞよろしく願い
いたします。



編集後記

四ッ葉園…0件
授産センターよっぱ…0件

相談窓口